



地下水保全顕彰制度 最優秀グランプリ表彰及び認定書交付式 公益財団法人くまもと地下水財団



令和7年2月14日開催
令和6年度地下水保全顕彰制度
最優秀グランプリ表彰・認定書交付式

前列左から、アデル・カーズ(株)様、KMバイオロジクス(株)様、大西理事長、(株)セイブクリーン様、(株)アネシス様
後列左から、村上常務理事、大野顕彰委員会委員、大住顕彰委員会委員

令和6年度 地下水保全顕彰制度

令和6年12月19日に
地下水保全顕彰委員会を開催し、
令和6年度の認定企業・団体が決定しました。

今年度は過去3年間のゴールド認定企業から最優秀グランプリも選定いたしました。審査の結果は以下のとおりとなります。



最優秀グランプリ
KMバイオロジクス 株式会社

ゴールド認定

株式会社 セイブクリーン

シルバー認定

**アデル・カーズ 株式会社
内村酸素 株式会社**

ブロンズ認定

株式会社 アネシス

※内村酸素株式会社は平成30年度にシルバー認定を受けており、同一ランクの認定となったため、改めての認定書の交付は行っておりません。

令和7年度地下水保全顕彰制度の募集開始は令和7年7月の予定です。

お問い合わせは公益財団法人くまもと地下水財団まで

Contents

表紙 令和6年度 地下水保全顕彰制度

1 KMバイオロジクス(株) 取り組み紹介

2 水田オーナー制度/量水器/熊工コラボイベント

3 冬期湛水事業 / 募集型寄付

4 協力農家の方の声

5 江津湖の湧水量

6 データ公開

裏表紙 Instagram“水への想い”コメント
紹介/新規会員紹介

地下水保全顕彰制度 最優秀グランプリ紹介

令和6年度地下水保全顕彰制度にて最優秀グランプリに選定されたKMバイオロジクス株式会社の地下水保全の取り組みを紹介します。

最優秀グランプリ KMバイオロジクス株式会社



KMバイオロジクス株式会社は、2018年7月に一般財団法人化学及血清療法研究所（化血研）の主要事業（ヒト用ワクチン、動物用ワクチン、血漿分画製剤、新生児マスクリーニング検査）を承継した会社です。“予防、治療のプロフェッショナルとして生命科学の可能性に挑戦し続けることで、世界の人々の健康で豊かな未来に貢献する”ことを企業理念としています。さらに、明治グループの傘下企業として、グループが掲げている“サステナビリティと事業の融合”を最重要テーマの一つと位置づけています。

地下水保全に関する活動としては、白川中流域での水田湛水事業への協力を、前身の化血研時代から継続しています。加えて2024年度からは、くまもと地下水財団の冬期湛水事業にも参画しており、この二つの事業を合わせると、現在は、約120万tの地下水を涵養していることになります。また2023年度までは、「ウォーターオフセット米」の購入推進も行うなど、多面的に熊本の涵養事業の促進に協力しています。



事業所の一つである菊池研究所では、2023年度に新設した太陽光パネル設備の敷地内に、雨水を地下に浸透させるためのトレンチや側溝を設けたり、同研究所内の「くまもと こもれびの森®」（環境省の自然共生サイトや、都市緑化機構のSEGESのステージ3に認定）の活用（涵養地としても）を推進するなど、地下水の保全・育水に取り組んでいます。また、熊本事業所内では地下水を再利用する「中水システム」の活用を促進し、節水に取り組み、所有する井戸の適切な管理や、地域農家への農業用水の供給、事業所からの排水時の水質管理にも常に留意した事業活動を行っています。

豊かな水環境があるからこそ私たちの事業活動が行えています。自然の元本を食いつぶす経営はもはや許されません。世界の潮流としても、環境保全を重要課題と位置付ける「ネイチャーポジティブ経営」が必須となってきており、その姿勢を示すのは企業の責務です。KMバイオロジクス株式会社は、熊本に生きる企業としての責務を果たし、そして地元への恩返しとして、社会価値と経済価値の双方の創出＝サステナビリティと事業の融合を目指し、これからもますます熊本の地下水や環境の保全に貢献できるように努力して参ります。



水田オーナー制度

「お米を作って地下水を育む」水田オーナー制度。令和6年度は、10企業・団体、4個人が7,055㎡の水田オーナーとなり、43,032㎡の地下水かん養に貢献いただきました。



田植え

令和6年6月8日(土)に田植えを行いました。約400人が大津町真木地区に集い、絶好の田植え日和の中、真木地区の農家の皆さんの指導の下、家族や同僚、友人との交流を深めながら田植えを行うことができました。



稲刈り

令和6年10月12日(土)、13日(日)の2日間にわたり、稲刈りを行いました。



水田オーナー制度参加企業・団体

量水器設置について

くもと地下水財団では、量水器設置の補助を行っています。次の経過措置の対象者に対する量水器設置の補助は令和7年度末(令和8年3月31日)までです。経過措置の対象者は、是非この機会に量水器の設置をお願いします。

量水器1基あたりの補助金額

量水器口径(mm)	新規限度額
口径(mm) ≤ 30mm	35,000円
30mm < 口径(mm) ≤ 40mm	40,000円

<経過措置の対象者> 平成24年の熊本県地下水保全条例の改正時に、既に揚水機の吐出口断面積が19cm²(直径約5cm)を超える揚水設備で地下水を採取し、現在量水器を設置されていない方。

※経過措置の対象者は、熊本県地下水保全条例第30条第1項で、水量測定器(量水器)の設置が義務付けられています(一部を除く)。補助金の交付は量水器設置前の申請手続きが必須となります。補助金交付をご希望の方は、当財団まで事前にご連絡ください。その他、詳細は財団HPをご確認ください。

熊本工業高校とのコラボイベント開催

熊本地域内の湧水池を巡るデジタルスタンプラリーと地下水クイズを実施しました。

熊本工業高校の課題研究授業の一環で3年生3人からの熊本の地下水の広報啓発に関する提案から始まったこの企画ですが、延べ102人の方にご参加いただきました。たくさんの方々のご参加ありがとうございました。

今後も当財団では、次世代を担う高校生等の活動を支援していきます。

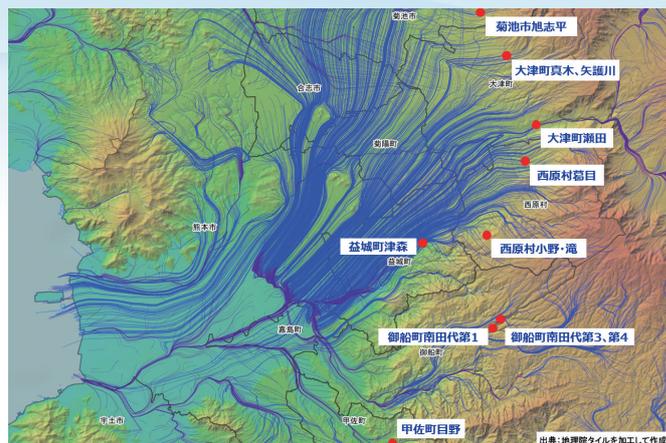


たんすい 冬期湛水事業

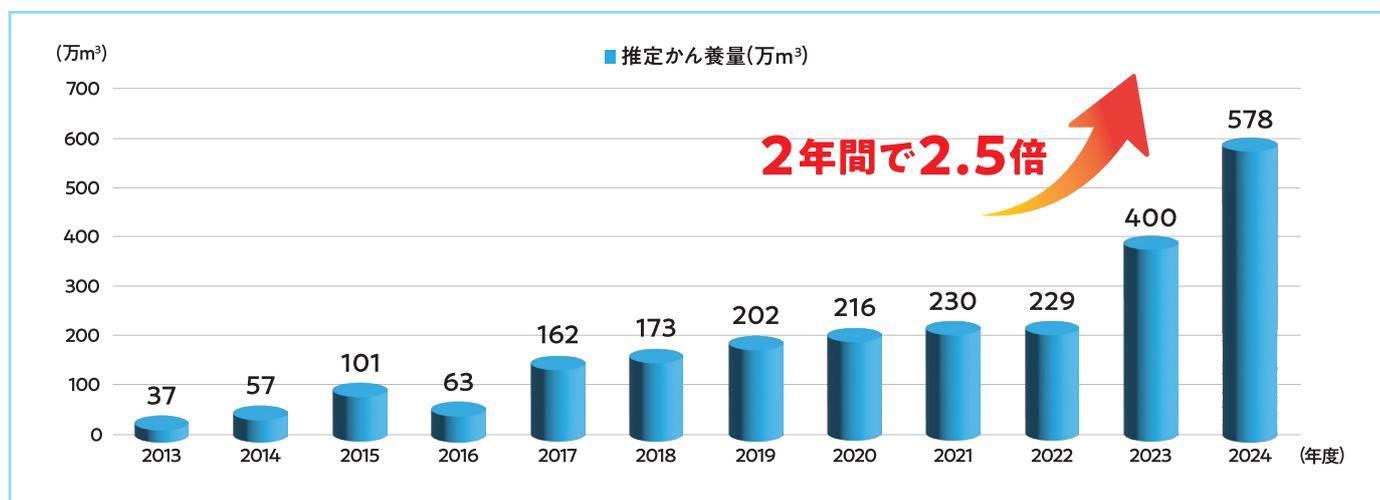
令和6年11月から令和7年3月までの5か月間、6市町村11地区で農家の皆様のご協力により、冬期湛水事業を実施しています。冬期湛水事業とは、稲刈りが終わった水田に水を張ることにより、地力の向上や雑草抑制などの環境保全型農業の促進と地下水涵養を図る取り組みです。

田んぼから浸透した水は地下水となり、私たちの生活を支えています。

令和6年度は、令和5年度より15.4ha増の65.9ha(予定)に実施面積を拡大し、更なる地下水かん養を図っています。



※冬期湛水事業の実施地域



募集型寄付についてのお礼

今年度の10月から開始しました募集型寄付は、賛助会会員の皆様をはじめ、多くの方々からご寄付のお申込みを頂きました。ここに、厚く御礼を申し上げます。今回皆様から頂きました寄付金は、冬期湛水事業による地下水保全のために使用させていただきます。

寄付者の地下水涵養対策として寄付金額に見合う量の「地下水涵養量証明書」を当財団が寄付者に発行します。

なお、地下水採取許可者におかれましては、地下水涵養の実績として「地下水涵養量証明書」を熊本県への報告に使用することができます。

令和7年度募集型寄付について

令和7年度も今年度と同様に冬期湛水事業に用途を限定した募集型寄付金の募集を予定しています。

募集時期や寄付金額の目安等につきましては、募集開始前にご案内文書を送付させていただきますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

冬期湛水事業 協力農家の方の声



甲佐町 目野地区

田上 和孝さん

数十年後の未来のために 夏場の米作り+湛水=地下水保全

湛水を行っていた他の地区の方にあぜ塗りを頼まれたことがあったんですよ。それがきっかけで湛水を知って、自分たちもやりたいと思い10年前にこの湛水を始めました。最近、半導体企業関連のニュースなどで地下水が取り上げられることも多くなって、先駆けてこういった活動をしていてよかったと思います。地区の農家も高齢化して、水管理や鹿、猪などの対策等大変なことも多いですが、皆で協力し地区一体となって湛水を行っています。営農効果として、雑草の抑制やジャンボタニシ被害の防止にとっても効果的でした。

この地区は、山からの湧き水を農業用水として使っていて、すごく恵まれているんだなと思っています。湛水することによって、その水が熊本地域の方々に地下水となって利用してもらえるのは良いことだなと思って、今は頑張っています。水が無いとどうしようもないです。今すぐためになることではないでしょうけど、数十年後の未来のために、やり続けることが大事だと思っています。



右側

西原村 小野地区

西岡 哲也さん

左側

西原村 滝地区

西野 秀登さん

高齢化が進む地区 それでも湛水続ける それは「命の水」を守るため

財団さんから湛水をしないかというお誘いがあり、7名の農家でスタートした湛水も今年で9年目になります。

高齢化が進むこの地区の農家にとって、水漏れや水張りの状況を確認する見回りや、湛水の準備、水の管理等、大変なことはありますが、周りの農家の方々の理解・協力を得ながら、徐々にですが参加者も増えてきています。

地下水は目に見えるわけではないので、どれだけ役に立っているのかは分からないけれども、私たちも地下水を使っているのだから、湛水をして地下水を守っていくことの意義を皆で感じています。また、私たちは、水源が近くにあるので水で不自由を感じたことがないけれど、水で苦労している地域も沢山あるので、水は大切なものだと思っています。

地下水は、人が生きていくための「命の水」です。皆さんも同じように考えて下さっているとと思っています。そんな地下水を守るために少しでも力になれば、という思いでこれからも頑張っていこうと思います。



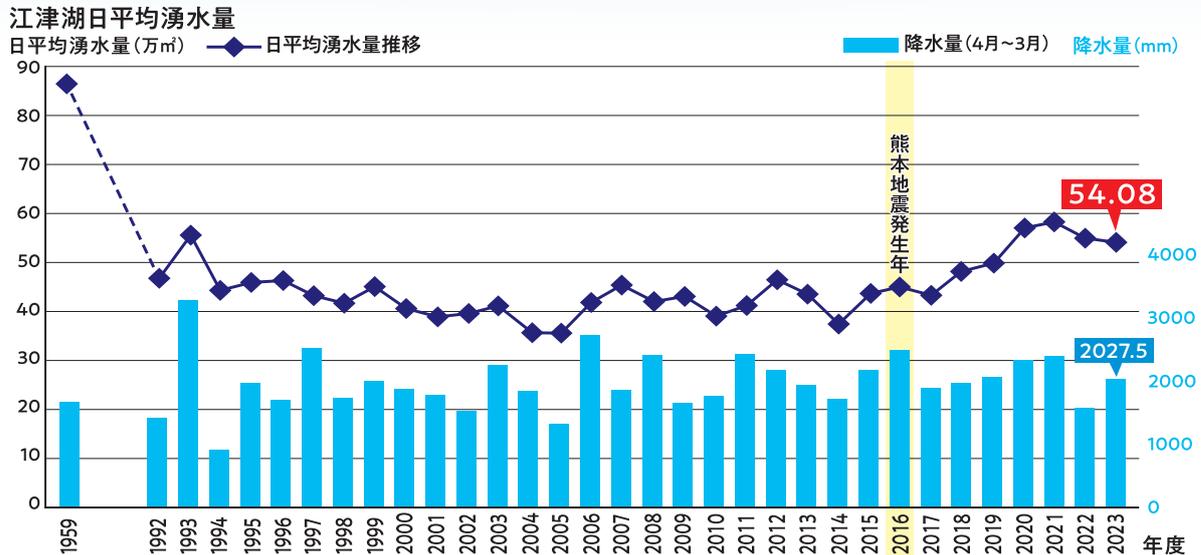
甲佐町 目野地区



西原村 小野・滝地区

江津湖の湧水量について

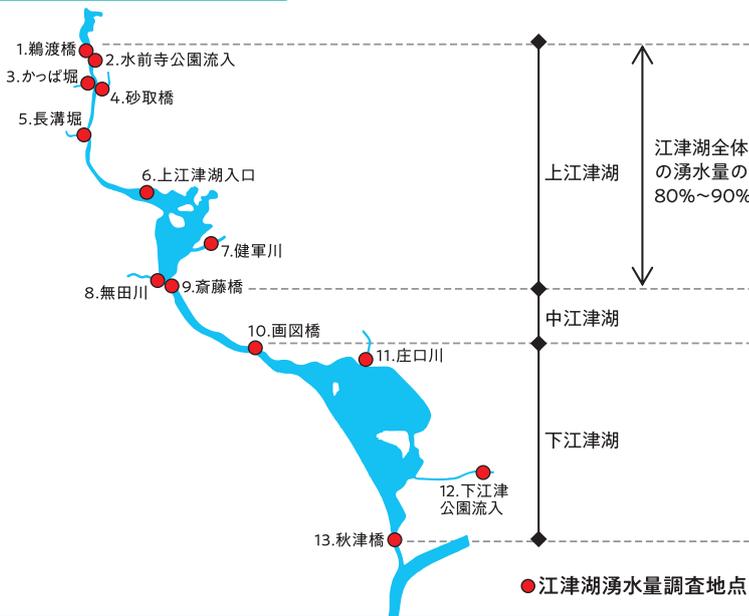
熊本市南東部に位置する水前寺・江津湖湧水群は環境省により「平成の名水百選」に選定されており、1960年に熊本県が報告している熊本平野総合開発調査報告書では、日量80万 m^3 を超える量が湧水すると報告されています。1992年から東海大学名誉教授の市川勉先生によって月1回の江津湖の流量調査が始まり、2015年から当財団が引き継いで調査を実施しています。最新の2023年度(令和5年度)の日平均湧水量は約54万 m^3 となっており、2024年度も概ね横ばいで推移しています。



江津湖の湧水量は降水量の影響が大きいことが分かっておりますが、熊本地震が発生した2016年を境に、降水量の変動に関わらず、日平均湧水量の増加傾向が見られます。

この増加の要因等江津湖の湧水量のメカニズムについて東海大学名誉教授市川勉先生と共同研究を行いました。

検証結果について



江津湖の湧水量は、上江津湖から下江津湖までの13地点の流量を観測し算出しています。

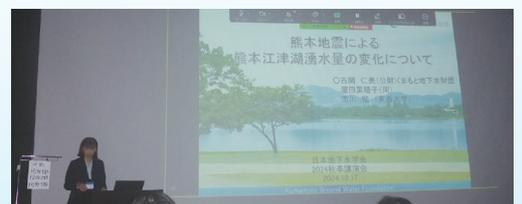
斎藤橋までを上江津湖、斎藤橋から画図橋までを中江津湖、画図橋から秋津橋までを下江津湖とブロック分けした場合、上江津湖側の湧水量が江津湖全体の湧水量の80~90%を占めています。上江津湖の湧水は地表面付近の湧水が主となっております。

近年の江津湖の湧水量の上昇傾向については、熊本地震による地表面の沈降より、地下水の湧出圧力が増えたことが要因のひとつであることがわかりました。

検証結果の詳細については右記の二次元バーコード(財団HPリンク)よりご確認ください。是非ご覧ください。



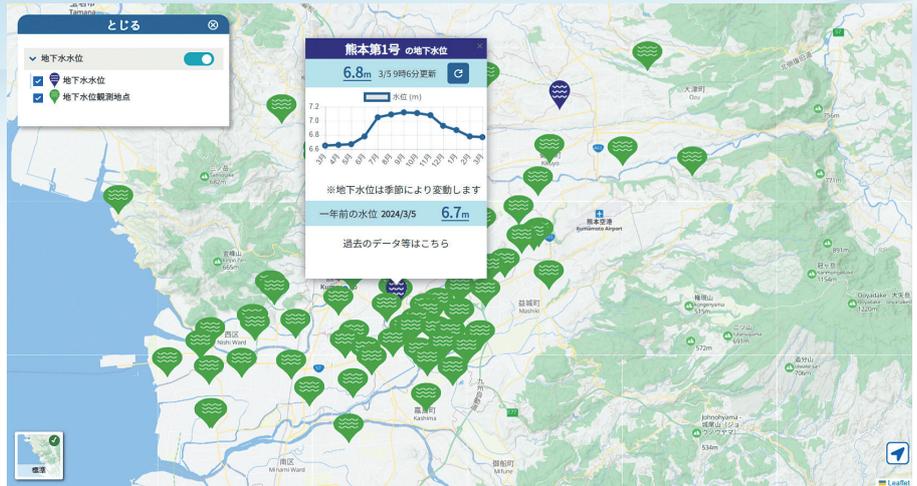
この結果について、令和6年10月17日に開催された公益社団法人日本地下水学会主催の2024年秋季講演会長岡大会にて財団職員が「熊本地震による熊本江津湖湧水量の変化について」というタイトルで発表を行いました。



データ公開について

熊本県全体のDX推進に向けて、県と県内市町村が共同で運用(令和6年度は13市町村)する「くまもとデータ連携基盤共通ダッシュボードサービス」を活用し、熊本県、熊本市、熊本市上下水道局、国交省の観測井140本の地下水水位データを公開しております。

地図上にあるポイントをクリックすることで、井戸名情報などと併せて地下水水位データが確認できます。



※熊本県が観測している菊陽町原水(セミコンテクノパーク)と熊本市水前寺の2ヶ所は地下水位をリアルタイムで確認できます。



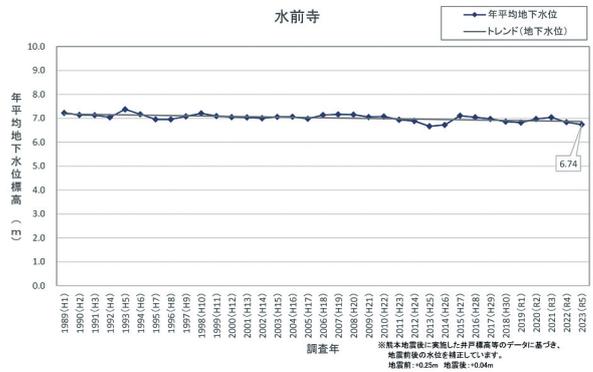
くまもとデータ連携基盤共通ダッシュボードサービスはこちらから!
<https://dashboard.dlp-kumamoto.jp/M100/full/page/dashboard>

また、当財団HPでも地下水水位データを公開しております。

くまもと地下水財団HPからの地下水水位データの閲覧方法



地下水情報リンク集をクリックします。



Instagram “水への想い” コメントキャンペーン

財団公式Instagramで“水への想い”コメントキャンペーンを実施しました。
80件を超えるコメントをいただきました。ありがとうございました。

コメントの一部をご紹介します（絵文字などは一部修正しています）

- 美味しいお水！熊本民の私の自慢です。
- 熊本の水は本当にキレイでおいしいです！
熊本にきたらぜひ水道水飲んでほしいです！
- 毎日美味しくいただいている熊本の水。蛇口をひねったら、
おいしい水で有り難いです！
限りある資源、これからも大切にに使わせていただきます！
- 熊本のおいしいもの、美しい風景、健康あふれる人々は熊本の水の恩恵なのですね！
熊本の清らかな水を保つ努力をなさっている方々には頭が上がりません！
ぜひこれからも応援させてください！

寄せられた水への想いは大変好意的なものばかりでした。

今後も皆様の水への想いと一緒に、地下水保全に取り組んでまいります。



新規 会員様 ご紹介

令和6年2月から令和7年2月末日までに、新規にご加入いただきました会員の皆様をご紹介します。

- 株式会社パブリックビジネスジャパン ●アデル・カーズ株式会社
 - 熊本バスケットボール株式会社 ●熊本都市バス株式会社
 - Universe Quest ●田中 俊実 ●江藤 徳幸 ●隅田 亮 ●西田 一也
 - 北口 浩之 ●神崎 陽介 ●佐藤 公成 ●山本 孝壽 ●古上 藤治
 - 赤星 博興 ●高内 紗永 ●工 愛
- (順不同、敬称略)



©くまだ

くまもと地下水財団オリジナルキャラクター みずき

ご担当者変更時のお手続きについて

ご担当者様が変わられた際には、お手数ですが下記連絡先より、ご登録内容（ご担当者名、メールアドレスなど）の変更のお手続きをお願いいたします。

HPリンク掲載について

当財団のHPでは、賛助会員紹介ページを設けております。紹介ページにHP等のリンクの掲載をご希望される方は下記連絡先までお問い合わせください。

皆様から頂いた会費や寄付金により財団が実施する様々な地下水保全事業費は賄われています。

今後ともご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

